

## アジア競技大会ゴルフ競技 日本代表選手団について

開催期間：平成26年9月25日（木）～28日（日）

開催場所：Dream Park CC（韓国・仁川）

競技方法：1日18ホール、4日間計72ホールのストロークプレーの個人戦とチーム戦。チーム戦は各日とも、各チーム男子は4名中3名、女子は3名中2名のベストスコアをその日のチームスコアとし、4日間の合計スコアで争う。

### 《日本代表選手団》

#### 女子チーム

女子監督：阪本 知子（JGA 競技者育成強化推進本部女子ナショナル強化部会長）  
選手：岡山 絵里（大阪商業大学高校3年）  
勝 みなみ（鹿児島高校1年）  
松原 由美（大阪学院大学高校1年）

#### 男子チーム

男子監督：堀田 勝市（JGA 競技者育成強化推進本部男子ナショナル強化部会長）  
選手：小木曾 喬（福井工業大学附属福井高校3年）  
小浦 和也（専修大学4年）  
小西 健太（東北福祉大学2年）  
長谷川 祥平（大阪学院大学3年）

#### アジア競技大会 略史

アジア競技大会は、第2次世界大戦後にインドの提唱により、アジアの国々のスポーツ文化高揚を目的として、1951年に第1回大会が開催され、それ以降、アジアスポーツの祭典として4年毎に開催されています。過去、日本では1958年に東京、1994年に広島大会が開催されたことも記憶に新しいところです。

ゴルフ競技が正式種目となったのは、1982年第9回インド大会からで、当初は男子のみの競技でした。日本は、この大会から選手団を派遣しており、第11回大会（中国）で男子チームが初優勝。個人でも丸山茂樹（現在、プロ）が金メダルを獲得しました。その後、男子チームは第13回大会まで3大会連続団体優勝を果たし、個人戦でも第12回大会で横尾要、第13回大会では近藤智弘が金メダルを獲得しています。

一方、女子競技は第11回大会から行われるようになり、大山志保や横峯さくららが出場しています。2002年に開催された韓国大会では、宮里藍が女子個人戦初の金メダルを獲得し、女子団体でも初の銀メダルを獲得しました。

ゴルフ競技は、1日18ホール、4日間72ホールのストロークプレーで個人戦とチーム戦が争われます。チーム戦は各日とも、男子4名中3名、女子3名中2名のベストスコアをその日のチームスコアとし、4日間の合計スコアで勝敗を決します。

アジア競技大会  
日本チーム成績一覧表

開催国	回	開催年度	参加国	優勝国	日本チーム成績	参加選手及び個人順位
インド	第9回	1982年	12ヶ国	インド	3位	阪田 哲男(3位)尾家 清孝(10位) 内藤 正幸(16位)木村 憲明(31位)
韓国	第10回	1986年	11ヶ国	韓国	2位	中川 隆弘(3位)米 山 剛(7位) 大友 富雄(13位)阪田 哲男(16位)
中国	第11回	1990年	12ヶ国	男子:日本	優勝	丸山 茂樹(1位)桑原 克典(6位) 米倉 和良(21位)岡部 太郎(27位)
			5ヶ国	女子:韓国	5位	高村 亜紀(10位)丸谷 京子(11位タイ) 芳賀 ゆきよ(11位タイ)斎藤 美樹(19位)
日本	第12回	1994年	6ヶ国	男子:日本	優勝	横尾 要(1位)尾家 清孝(9位タイ) 小島 礼志(14位)岡本 太郎(29位タイ)
			6ヶ国	女子:台湾	4位	有藤 智香(7位)坂垣 真由美(11位) 中野 陽子(12位)
タイ	第13回	1998年	10ヶ国	男子:日本	優勝	近藤 智弘(1位)星野 英正(6位タイ) 宮里 優作(6位タイ)谷原 秀人(14位タイ)
			5ヶ国	女子:台湾	5位	大山 志保(5位)紫垣 綾香(12位) 勇 知 江(21位)
韓国	第14回	2002年	16ヶ国	男子:台湾	3位	宮里 優作(4位)藤島 豊和(9位) 池田 力(15位)藤田 大(22位)
			6ヶ国	女子:韓国	2位	宮里 藍(1位)上原 彩子(4位) 横峯 さくら(7位)
カタール	第15回	2006年	17ヶ国	男子:韓国	4位	池田 勇太(7位タイ)伊藤 勇気(9位タイ) 宇佐美 祐樹(18位タイ)田村 尚之(23位タイ)
			9ヶ国	女子:韓国	2位	宮里 美香(2位)佐伯 三貴(5位) 原 江里菜(6位)
中国	第16回	2010年	20か国	男子:韓国	6位	川村 昌弘(29位タイ)小平 智(7位) 小西 健太(19位タイ)松山 英樹(14位タイ)
			11ヶ国	女子:韓国	4位タイ	比嘉真美子(8位)福田 真未(17位) 堀 奈津佳(10位タイ)